

関西大学臨床心理専門職大学院 客員教授講演会

「虐待を受けた子どもの心理とこころのケア」

講 師 田中 究 客員教授

日 時 2020年 11月21日（土）16時20分～17時50分

会 場 千里山キャンパス 尚文館マルチメディアA V大教室

聴 講 無 料（定員80名・事前申込制）

申 込 右記のQRコードから
お申し込みください。



締 切 定員に達した場合、受付を終了いたします。

※申し込みにあたっては、以下の「感染予防対策」にご留意のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。
〔新型コロナウイルス感染予防対策〕

- 受講者はマスクを必ず着用してください（マスク着用でない場合、受講はご遠慮ください）。
- 受講者は受付で手指消毒液用のアルコールにて消毒してください（会場は事前に消毒を行っています）。
- 座席は間隔を空けて設定いたします。また演台に近い座席は使用しません。
- 換気のため、会場の出入り口のドアは講演中も開放いたします。
- 三密対策として、会場内やロビーでの談話等はご遠慮ください。
- 当日、体調不良の方、特に喉の痛み、咳、および熱のある方（体温が37.5℃以上の方）の受講はご遠慮ください。当日は入場時に検温を行います。
- 参加者に感染者が発生した場合は必要に応じて、保健所などの公的機関へ氏名および連絡先の情報が提供されることがあります。
- 接触確認アプリCOCOAのインストールを推奨します。
- 感染拡大の際は、講演会の開催を中止する場合があります。（その場合、受講申し込み者に連絡いたします。）

<講演概要>

子ども虐待は大きな社会的な問題となっています。虐待を受けた子どもの影響は長期間に持続し、精神医学的、心理学的問題のみならず、身体医学的な問題、社会的機能の問題を成人になっても抱え続けることが明らかになっています。またこれらにかかる社会的なコストはとて大きく、子ども虐待を未然に防ぐ、あるいは超早期に介入することが将来にわたるコストを低減することも明らかになっています。こうした中で、今日の心理臨床において、子ども虐待における心的外傷や解離、アタッチメントを理解し、こうした課題への治療的対応は必須となっています。これらについて、概説し、事例を通して私たちがすべき介入について検討したいと思います。

<講師経歴>

1984年 徳島大学医学部卒業、神戸大学医学部附属病院精神神経科医員、
1995年 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野助手、2005年 同講師、
2007年 同准教授を経て、2014年 兵庫県立ひょうごこころの医療センター院長。
現在、日本トラウマティックストレス学会会長、日本児童精神医学会常任理事、兵庫県
子ども家庭センターアドヴァイザー、精神保健指定医、日本児童精神医学会専門医、
日本小児精神神経医学会認定医、臨床心理士として多方面で活躍。
著書に「子どものPTSDー診断と治療」（診断と治療社、2014）ほか多数。

主 催 ： 関西大学臨床心理専門職大学院